ん気持ちが落ち着いた。を基なのだ。そう思えたら、

せず、



アシュラムとはインドの言葉で「退修」という意味で、スタンレー・ジョーンズ博士によって日本に紹介されたもの であります。祈りの生活をもってみ前に自らを整え、今日に於ける主のご委託にこたえんというのがその願いです。

> 38人 < 業薬 13

3·7-ハ々に与

8

0

健康は主から与えられた も、私たちの健康にとって も、私たちの健康にとって ないことではある。しかし、 にいと願うことは、的外 をができず、薬だけでは測ることのできないものがあ るのだ。祈ると言う見えな をがある。とは、的外 はある。しかし、

2022. 5月第642

発行所 アシュラムセンター 523-0894 近江八幡市中村町 567-2 Tel 0748-33-4030 Fax 0748-33-8856

アシュラムセンターホームページ www.ashramcenter.ip

アシュラム誌編集委員会

01050-6-53772 アシュラムセンター

印 刷 明文舎印刷商事(株)

> のこ あ

医者にも助けを求めよ。主医者にも助けを求めよ。主医者にも助けを求めよ。主り求めているのだ。病人のり求めているのだ。病人のもなさせる治療に成功するように」(シラ88:9-14)と言う。

な薬医晴

れめは、今

る日の私

北は北北地名が

海集加朝

道、

10 o た

い 毎 Z

(株) え、医者や薬局のお世話に 「なっている。毎月血液検査 が、今ではすっかりそちら が、今ではすっかりそちら が、今ではすっかりそちら が、今ではすっかりそちら が、今ではすっかりそちら が、今ではすっかりそちら が、今ではすっかりそちら か、今ではすっかりそちら か、今ではすっかりそちら か、今ではすっかりそちら か、今ではすっかりそちら か、今ではすっかりそちら を変の順番待ちをしながら、 きの次の言葉を思い出し を処方しているのではないは、ただ数値を測り、薬らしい言葉ではないか。医

人々に与えられる」(く、健康は主から全意は決して終わるこ業屋は薬を調合する。 やし、 痛みを取り 薬によっ られる」(シラエから全地の終合する。主の て人を 、除く。

瞑 想

た健 なた な た 康 が の す た で あ ベ ŧ るように て L の 1) 点 が で 幸 幸 祈 1 を得 , ŋ , ます。 を得、 7 1) る よう

あ あ

Ⅱヨハネ2

恵

い。目の前の患者ために「苦い。目の前の患者ために「告い。」と願い祈っている。ように」と願い祈っている。まうに」と願い祈っている。を師も、薬剤師も、養離があると療従も、そしてあらゆる医療従れた祈る人なのだ。家族が、友が、そしてすべての人が病に苦ししてすべての人が病に苦しなのだ。家族が、友が、そしてすべての人が病に苦しなのだ。家族が、友が、それは、医療従事者だけでなのだ。家族が、友が、をしてすべての人が病に苦しなのだ。家族が、友が、私たち は九州沖縄まで、インターネットは、日本中を、いやもう30年以上も癌とたたかい続けている人、家族や本人が心の傷を抱え苦しんでいる人、職場に馴染めず苦いる人、職場に馴染めず苦いる人、職場に馴染めず苦いる人、であっている、そんな一人が、毎朝聖書を読み、み言葉に聴き、祈っている。お互いがお互いのことを思い、祈る時を持つこの時の、

は祈る。朝に夕に、その病として祈ることを祈る。時の癒されることが虚しく思たいが、祈る私を造られた方には大いなる力があるた方には大いなる力があるた方には大いなる力がある。時にないが、祈る私を造られる。朝に夕に、その病 来ってく が 者を含 れの 動 0)

原

点私

今月与えられたローズンの手紙である。今となってイオーの手紙である。今となってイオーの手紙である。今となったがすべての表出しいがら、愛するが、とは、身体的、特を思って祈る私たりのの原点であるように、時を超えて、今この時、またがすべての点できない。も、をしてそれは、時を超え、場所を超えて、今この時、とはできない。も、そしてあらゆる人のであるようにである。をしてそれは、創造主であるようにがりのなのだ。
なのなのだ。
なのなのだ。
ないなのだ。
ないなのだ。 、人人、「がん」のわた

平和を祈っ 健康を祈 ŋ 7

い幸祈

てアシュラムに

参

W

は、

東 海 教 会 日 7 シュ いに参加して ラ 4 0

参加できたことを ています。 8773ま 謝

小林佳子姉のあきらめない祈りが聴かれ、初の教会アシュラム! 来年もお願いネ!と佳子母(恭子姉は恵師の右うしろ)

を

9

7

シュ

ラム

セ

2年前 13 し一東のア 加初 て日海祈ン 8 を明ス語章たるを 大日様りから のから に思恵け「回 を勢 えて 聴くことの H にして」御言 思声にで、回は、 Þ は、 て下さるイエ 煩わ を下ろして 耳 ませんが)」 ŋ 大切さを マ がず、 タイ5 しまし 傾 られ

スていただきました。 ゆっくり時間をかけいをした「静聴の時」、 聖霊の満ちいをした「恵みの時」、 で分かち合いをした「恵みのですが、コロナのの恵みはもちろん」 ことをでなが、い恵みは、 たでの溢時い めす恵れ」を しけ力コも 7 りになまる

な心はリてのアの を乱している、イエスを乱している。 ことは も愚が記榎 痴イ 述本 をことは、エスス た いにアスは、様逆にある思、様とになる思、様とになる思い。 だだ 思 様しに では、 ではといる ではとり でである。 でである。 大事みたり マ事みたマ

ルタは良い方を選んだ。それを取り上げてはいけない。』と言われただろう。」とお話下さったろう。」とお話下さったっためにその時々をから、ことがはない。」と言われただの最善を行う者にないと思いました。 ただ n 々

せ

んなで再意がなて年しムいなにし、なたあ開志、つや間にがったが、またが、「もり」といる。 裏計なれ継ういた、 見計なれ継ういた、 見計なれ継ういた。 恋を継ぐ友によっていたアシュラムや おをえず中止とや まず中止との間、コロナによっの間、コロナによっ もう 子 同、コロナになたのに。このが開催されよう 息計たれ継 三折 り求い し報の 8 ようと かにに。 求日めに アシ 出接 b よう いう 2 ユガ は う غ ラであの少恵 あ時 ご夫 うの都 西とア 会を 私内 ただい 走 祈 道 け

じまりた 年前に、 三重ア 水 アクラのように東奔を支えたプリスキラを支えたプリスキラとの願いに応え、 つされ り府 を発 り輪を広げ いっぱい かり いっぱい かいり いっぱい アシュラム 戸 (バプテスト教会) で にとどまら、それは三重 それは三 願小ユ 願輪 に林ご ラ回ムを っ夫は、数えて妻、え 重

台湾までもそのご不自 台湾までもそのご不自 り、「主の用なり」と がありますが、それ とがありますが、それ とがありますが、それ とがありますが、それ をはそれは本当に遠い道 をはこれられますが、それ とがありますが、それ をはこれられますが、それ とがありますが、それ をはこれられません。 の下がる思いでした。しかしそ のです。一度は、「重の のです。一度は、「も のです。一度は、「も のです。一度は、「も のです。一度は、「も のです。一度は、「も のださっていたお のださっていたお のださっていたお のださっていたお のです。一度は、「も のです。一度は、「も のです。一度は、「も のです。一度は、「も のです。一度は、「も のですがら、ほか

ご夫妻が5年前、

主に

ある兄弟姉

によって見事にめる兄弟姉妹の手

7

や高

志さん、

そして 岡部さ

達が、 尊 信 ジルにも。 い仕らだは ここ水戸にも、そして りと願いを受け 台湾にも、 三重にも、 大勢おられるのです。 いこうとされて ただいたのです。 事を全うし、 そんな小林ご夫妻を 11 の先達として慕 たお仕 実に全国 を受け継いで 最後までそ そしてブラ 滋賀にも、 [各地に いる方 す it e V \mathcal{O} か 7

主い正

オリーブの里アシュラムの後、小林御夫妻をお訪ねし

も心に留まっています。 からの明るいお声、今 からの明るいお声、今 したんですよ」と電話 「娘(恭子姉)が栽培 いたけがドッサリと!

催が危ぶまれてい は、 三重アシュラム れ コ 口 ま ょ 0) ま 出

思年重

間

を

て、

神

様から与えて

50 冊 の 会 『ゲスト・ブック』 の 神 秘 を紐といて 粒

ました。 唄野隆・絢子御夫妻が御本を出版され

出会いをお書き下さっていますので、 本文105ページ~1 紹介させて頂きます。 ていますので、皆様にご10ページに保郎師との

\$

このまま消滅

じて

まうのではない

か、

直そんな心配をして

L 開

た。

私は不信

仰に



父の

かし、

を受けたのですが、当時は、 学生相撲全国大会のある日 ました。ベーツ院長から洗礼 商部に進み、相撲部顧問の柳 関・大ノ里に憧れていまし が相撲が強く、 原先生に導かれて信仰を持ち た。相撲の引きで関西学院高 父は中学時代から、 当時の小兵大

ん。毎朝せなあかん」

と言わ

なかったのです。三種は決して死んでは

三はい

す。ご夫妻が蒔かれた

は生きておら たのです。

れま

アシュラムは、

すことが無くなって あったのか、 ヤへ抑留されました。この間 軍に配属され、戦後はシベリ 召集令状を受け、満州の関東 に信仰上の何か新しい体験が 日曜礼拝は欠か 昭和24年に帰国 いま

続く)

き生きとした信仰生活に変わ 先生に出会ったときから、 かし、 静まってみ言葉を聴くこ 喜びを見出すように アシュラムで榎本

> 生は「そらあかんわ。 父がしばらく考えてから、「週 野さん、早天 (祈祷会)、 ひょか」と応えると、 に一遍ぐらい、やってみま なあかんで」と言われました。 なっていました。 あるとき、 榎本先生が 続かへ 榎本先

瞑想し、 ごろ起き、いろいろ 慣を身に着けまし な訳の聖書を読み、 れました。父は、そ れから毎朝2時半 祈る生活習

した。しかし、昭和16年秋に、 は、必ず相撲大会に出ていま

と続いています。 そのときから、ずっ の元旦から、堺大浜 めると、1976年 に着いたのを確か 会」を始めました。 教会で「早天祈祷 いかけて、それが身 尾山令仁先生 一年ぐら 初

社

いていました。 いろな先生の説教テープを聞 田中剛二先生など、

こしを自分でして、 変わりました。 瞑想、そして祈りという形に を配布するようになりまし セージを聞き、そのテープ起 先生の「一日一章」の電話メッ ライアンス教会の小宮山林也 いています。 日一章の日課に従って聖書を 日一章」を始め、その日 から小宮山先生の強い勧め た。そして、 ですが、そのうちに、 大浜教会独自の「聖書 そのみ言葉についての 1981年3月 それが今も続 プリント

唄 せ



伊江島平和アシュラムの初期。30年程前。 台湾の皆様も。唄野政一長老は、後列左から2人目。 セスナ機にて那覇から伊江島に(和子母も!)

武

田

多美

姉

ュ

瞬きの詩人

水野源三の世界

三浦綾子記念文学館特別研究員 森下 辰衛

> 傷跡 1980

三十三年間 寝たきりの 私の額には 三つの傷跡がある その一つ一つの傷跡には 美しい野山を 遊び回った 思い出がある

神様が 与えて下さった 尊い十年間が

「傷のない人生は恥 | という言葉があるそうです。 傷こそは、その人が真剣に生きたことの証しであ り、いのちの戦いの跡が確かにそこにあるからで しょうか。

源三さんの額の傷跡は、勲章のような栄誉に満 ちて、「美しい野山を 遊び回った 思い出」を語る ものでした。三つの傷跡。その一つ一つに、一つ 一つの思い出があるのです。それは例えば、子鹿 のように躍動するいのちの歓喜。恐れや不安と共 にきらめく世界を体験する興奮。あるいはまた、 友だちや兄弟姉妹との胸苦しいほど懐かしい温か な時間だったでしょうか。傷の一つ一つは、それ らの輝く記憶が刻み込まれたものでした。

源三さんには、それが「神様が 与えて下さっ た 尊い十年間 | だったことが、今は痛いほど良く 分かるのです。人生の中にある十年がこれほどま でに尊いと分かるのは、"喪失"が持つ、愛しくも、 せつなすぎる逆説の力でした。ヨブは言いました。 「主は与え主は取られる、主の御名は誉むべきかな」 と。取り去られる苦しみに耐えられないとき、人は 「こんなことなら、はじめから何もなければ良かっ たのに」とさえ、呟くものです。けれど決して何も

残らないのではありません。傷がある。傷だけは 潰るのです。

普通、人は傷を尊いとは思いません。傷のない ものを人は尊ぶものです。けれど、傷があること で思いだせる大切なものがある。傷がなければ見 えてこない真実がある。傷があってはじめて、出 逢えるものがある。傷が道であり、傷が宝石箱の 扉であり、傷が証しとなることがあるのです。

美しい野山を備えてくださり、そこをふるさとと して私を生まれさせ、そこで私を養ってくださった 方がおられたと、気づかせるのも傷です。あんな にも走り回っていた少年の自分のすべての体験と 共に、傷も与えてくださった神さま。私から何もか も奪い去られた神さまが、しかし私に潰してくだ さったのは、忘れてはならないものに立ち戻るた めに、また尊いものに出会うために、くださった額 の傷でした。世界がすべてこの手に触れうるもの として与えられていたという愛の真実がそこにあ り、失われることのない恵みの記念がそこにある のです。

神さまは、カインの額に、カインの為したことの 証拠であり、しかしカインを守るものでもある印し を刻まれました。その同じ神さまが、私の額にも 遺された印し。たとえ記憶が薄れていっても、人 が変わったとしても、野山さえ失われたとしても、 私が生きている限り、もしかすると永遠に、傷跡 は印しとして遺る。それは神さまの印し。

三十三年間 寝たきりの 私の額には 三つの傷跡がある

三十三年間。それは、イエス・キリストの苦難 の生涯の時間です。キリストの額にも三十三年間 の生涯の最後の日、荊の冠によって傷がつけられ ました。実は密かに、ここで源三さんは、三つの 傷のある自分の額を、三つの十字架が立てられた カルバリの丘に見立てているのかも知れません。 そこには神さまの苦しみと傷の跡が確かにある。 そして主イエスの横に吊るされた犯罪人と同じよ うに、私がいつもそこに居続けることが出来るよう にと、その傷は愛として与えられたものであると、 源三さんは信じているのかも知れません。

主幹牧師の2021 年度の振り返りと2022 年ビジョン(4)

次に、シメオン黙想の家の庭にできたラビリ ンスのことを数えよう。一昨年、神の不思議な 恵みにより与えられた「シメオン黙想の家」。 昨年は、その庭に、ラビリンスという、6弁の 花模様の中心を囲む11周の円で造られた瞑想の 道が完成した。多くの友は、まだシメオンの返 済も終わっていないのに、また新しいものを作 るのかと心配してくださっていたが、ここにも 神の不思議が現れた。

詳しいことは、「アンナとシメオン」誌、ま た今月1月のホームページのコラムを読んでい ただきたいが、フランスのシャルトル大聖堂に ある、巡礼の道「ラビリンス」を模したこの道 が、今再び見直され、世界中に造られている。 日本ではまだ珍しいものであり、屋外にあるラ ビリンスは、数えるほどしかない。その一つを、 アシュラムセンターでは、イエズス会副管区長 山岡三治司祭、そしてラビリンスウォークジャ パンのリチャードガードナー上智大学名誉教

授、武田光世女史の指導監修のもと、センター の庭木を世話している宮本肇氏、そして二人の 若者が、完成させた。

暑い夏も、雨の時期も、そして肌寒くなる秋 の目も、一つ一つ石を敷き、その数約一万個。 それはまさに美しい神の幾何学模様と呼ぶべき ものだ。これもまた、数えてみよ、主の恵みで ある。 (続く)



ひとりラビリンスを味わうガードナー氏 (12月のリトリートアシュラムにて)

お便りのご紹介 🔣

リトリート期間中、ありがとうございました。ラビ リンスの研修で、ローレン・アートレスに「失敗は 無い。良い立て直しがあるのみ」と、教わりました。

わたしはこの言葉に励まされながらラビリンスの 活動をしています…お元気で。



←不思議な芸術工芸品を 持参し、組み合わせてく ださる武田光世女史。 れを壊してしまった康子 に対し、咎めることなく、 何より、この作品にかか わった、ということが大 切だと言って下さり、涙。



りの家、ついに時が来 て、4月2日「百合の会」 始まりました!! 「聖霊に満たされ、3時 間があっという間でし た。」恵姉

←尾﨑恵姉がずっと

願い続けてこられた祈



←加古川祈りの家(小 林清子姉宅、2回目開 催)じっくりと分か ち合いでき、感謝! 皆様の教会でのお働 きに期待しています

一鳥た合のつがそ は願た は願た 始 らとさいるなり、おりなり、おりなり、おりなり、おりなり、これにはない。 一で、からかがかって、 始会 ないないない。というないないでは、これでは、ないでは、ないできない。 元希言友 まニ てそたっが漢 野っ てた字そた望う 々て祈んそ っと

るち前時出なおしがこか前生私だロわウ ののにもて言らか、つっにきたろナっク ぁ ラの いはかもいイ号 ح が う戦頃 し 他 てか争 き いるコ終は、

リチャード・ガードナー[監修] 武田 光卅ラビリンス・ウォーク[著者] 上智大学出ペローレン・アートレス…[聖なる道を歩く] 』 武田 光世 [上智大学出版 |黙想と祈り

す。

お

待ち下

خ

(1

ま

せ。



中止、又はオンラインに変更もあり。 ホームページ、電話等でご確認下さい。 直前の変更の場合あり!

	5月の聖書教室など (主教問心合かせ名) 0748 - 33 - 4050 アシュラムセンター
9 (月)	福岡聖書教室(博多クリオコートホテル PM1:30)
10似	Zoom聖書教室(AM10:30、PM7:30)(5月は第2週です)
14生	聖書と学ぶ会 (Zoom PM8:00)
15(日)	ちいろば牧師記念チャペルタ礼拝(PM5:00)
16佣	箴言に学ぶ会(Zoom AM10:30、PM7:30)
17似	大阪聖書教室(大阪クリスチャンセンター AM10:30)
18例	カフェちいろば聖書入門講座(京都・伏見区深草 PM1:30)
20金	センター聖書教室(アシュラムセンター AM11:00)
23例	静岡聖書教室(旧・英和女学院宣教師館 AM10:00、PM1:30)
24(火)	東京聖書教室(御茶ノ水クリスチャンセンター 4 F AM10:30)
25例	美しい足の会(Zoom AM10:30、PM7:30)
6/3億	阪神ミニアシュラム

5月のアシュラムなど			
3(火) 5(未)	第30回 盛岡秋田アシュラム 奉仕者 榎本 恵師	019-688-4228 角谷晋次師	
13億 14生	第7回 北陸金沢アシュラム 奉仕者 榎本 恵師	076-241-4409 石田哲夫兄	
19休) 21生)	2022年修道場アシュラム④ (アンナ祈りの家、シメオン黙想の家) 奉仕者 榎本 恵師	0748-33-4030 アシュラムセンター	

	6月のアシュラム予定		
16休)	2022年 修道場アシュラム⑤	0748-33-4030	
18生)	奉仕者 榎本 恵師	アシュラムセンター	
20月) 22例	第46回 教職アシュラム (八王子大学セミナーハウス) 奉仕者 島 隆三師	048-789-1325 加々美要師	
22(k)	沖縄巡礼の旅	0748-33-4030	
25(±)	奉仕者 榎本 恵師	アシュラムセンター	

7月以降のアシュラム予定				
7月9年	第3回 四国一日アシュラム			
7月18側	第25回 福岡一日アシュラム			
7月30年	天上の友を憶える日礼拝 (榎本保郎師 召天45周年記念式)			
10月17億~18火	新潟アシュラム			
10月20(木)~22(土)	加太アシュラム			
10月27(木)~28億	第10回 日光オリーブの里アシュラム			
11月2例~4億	第47回 京浜アシュラム			



アシュラム料理 〇 Kヨ!国、和田モッド姉。修道』◆タイへの里帰りから』



と、鍬田運営委員長。運営委員会にて。恵師

いつも「みことば」欄を読んでくださって、 ありがとうございます。誠に勝手ながら、今月 は原稿を書く時間が取れず(試験)、お休みさ せていただきます。何も書かないわけにもいき ませんから、告知を一つ。

去年から書いていた本が、5月10日に出版されます。『それで君の声はどこにあるんだ-黒人神学から学んだこと』(岩波書店)という書名です。

日本を離れてほぼ10年になりますが、その間に出会った人々や学んだことについて、特にニューヨークでの経験を中心に振り返ったエッセイ集ですので、手にとっていただければ嬉しいです。本の出版とともに、私たち家族は5月末、日本に帰国予定です。沖縄・伊江島での学び、です。沖縄・伊江島での学び、です。沖縄・伊江島での学び、です。沖縄・伊江島での学び、です。沖縄・伊江島での学び、です。かっちゃんとはる

沖縄平和巡礼の旅ご案内

沖縄の日本復帰から50年の年。今再び戦争の足音が 聞こえるこの時に、しかしヨベルのつのぶえを吹き鳴 らそうではありませんか。

~~~~ ◆ 日程予定 ◆

6/22 (水) 昼12:30 那覇空港集合 第二外科壕跡 清掃、合同慰霊祭

北部やんばる 泊

23 (木) フェリー (30分) で伊江島へ わびあいの里、ぬちどう宝の家資料館 伊江ビーチで昼食、島の方々と交流

那覇 泊

24 金 サマリア人病院にてディケアの方々と交流 県立美術館 沖縄聖書教室

那覇 泊

25 生)解散

※会費 6万円

レンタカー代、3泊宿泊費、食費、フェリー代、入館料等 ※ (飛行機代は含みません。各自でご購入下さい。)



池谷兄も!! 天上の友・有賀姉 近れの旅 伊江島。